

筆山

第26号／1999年7月

土佐中・高等学校同窓会 関東支部会報

編集人/西岡 恒憲 (41回)

〒106-0032 東京都港区六本木3-16-12-7F 六本木司法書士合同事務所気付 TEL 03-3587-6200 FAX 03-3587-6201

E-mail: tsuruwa@mxq.mesh.ne.jp

関東支部ホームページ: www.2u.biglobe.ne.jp/~tsuruwa/kantosibu.htm



関東支部定例懇親会「一木会」。毎月第一木曜日に銀座「土佐酒蔵」にて開催。参加自由。

向陽の空 竹村照雄 (20回生)

高知に帰ると街で土佐中・高生を見かける。袖の白線が遠くから目につき、端正に着了制服姿が頼母しく映る。

高知市西久万で育ち、全校生徒数一五〇名の初月小学校から、私が初めて土佐中予科に入学したのは昭和13年4月であった。あの白線が少年にとつての強い憧れであった。

小学校で一番を続けていても、土佐中ではそうはいかない。俊秀が揃っている。背丈もクラスで一番のチビであったし、そして頑健な体躯でもなかった私が奮起した契機は二つある。一つは、予科3学期の昭和14年2月父が急死したこと。途方にくれた一家で母が働き、姉と私に学業を続けさせてくれた。もう一つは、本科一年になって級会長に推されたが、向陽会幹部から散々鉄拳制裁を受けたこと。私に落度がなくても、誰かの態度が悪いと、共に座らされて往復ビンタを無数に喰らう。後の陸軍将校生徒の5年間には、それなりの理由による3発だったが、土佐中のそれには屈辱を感じた。私は当時の時流の中で何としても陸軍幼年学校生徒となり、土佐中での元日の儀式には正装して来賓席に着座し、彼等を見返してやると心に誓った。こうして本科1年を終えて広島陸軍幼年学校に入校した。父の死後1年余、明確な志を抱いて郷関を出たのである。

昭和20年8月15日の終戦ですべてを失い、再出発の試験を経なければならなかった。夜学に通いながら勉強して在学中に司法試験に合格し、司法修習生を経て検事に任官したのは26年4月。爾来38年間の検察官生活を送った後、定年退官し、現在弁護士、来年初立一〇〇周年の相模女子大学理事長の職にもある。

人生の大きな節目ごとに私を奮起せしめたものは何か。あらためて考えてみると、我が心底にある土佐中出身者としての自負、そして土佐人としていかに生きるかであったと思う。幼時から「おまんそれでも男かね」という母の躰、竜馬のように時代を見通す眼を持ち、大事と小事を見定め、小我を出て大我に帰する生きざまを貫くことである。同窓各位の御活躍と、向陽の空の下、母校の限らない発展を心から祈念してやまない。

(元広島高検検事長)

99年関東支部総会及び大懇親会

99年度十佐中学・高等学校同窓会関東支部総会及び大懇親会が99年6月12日(土)にオリンピック記念青少年総合センター「国際交流館」に於いて開催されました。

約三〇〇名余の同窓生が東京は代々木の地に参集致しました。



浜田教頭先生の学事報告

今回の記念講演は株式会社スクウェアの代表取締役社長の武市智行氏(49回生)の「夢への挑戦」と題する講演でした。



武市智行氏

今年は9の回生(29回生、39回生、49回生、59回生、69回生)によるアイデアいっぱいの大懇親会が展開されました。

母校からは、浜田教頭先生はじめ古谷先生、得竹先生、西川先生にお見え頂きました。来年の総会は、平成12年5月27日(土)に今年と同じオリンピック記念青少年総合センターで開催致します。10の回生(30回生、40回生、50回生、60回生、70回生)の方々により更に斬新な、楽しいっぱいの総会が予定されています。

大懇親会

司会の69回生コンビ
浜田次郎君と伊与田弓子さん



宮地貫一支部長による来賓紹介



進藤貞和氏(3回)の音頭で乾杯



女流プロ棋士になった島井佐緒里さん。74回生を代表して挨拶



若々しい今年の新会員たち。74回生の諸君。



各支部の来賓の方々も和やかに談笑



お互い頭に白いものは混ざったが



西川先生と教え子達



得竹先生と教え子達



今年卒寿の進藤氏を囲んで



ハチキン美女軍団活躍す



親子2代の同窓会の感想は如何でしたか



おんちゃんらあと74回生



古谷先生と教え子達



最後は校歌の大斉唱。母校よ永遠なれ



9の回生から10の回生への総会幹事引継式。来年は宜しく！



関東支部活動報告

事務局長 鶴和千秋(41回生)

●母校創立八十周年

平成12年、母校は学校創立八十周年を迎えます。関東支部としても、この節目の時期に、何か母校の発展に寄与できる事業を行いたいと検討中です。同窓の皆さんからのアイデアもお待ちしております。

●叙勲を祝う会

田村孝章さんと町田守正さんの16回生お二人が、春の叙勲で勲二等瑞宝章を受章され、5月9日その伝達式が行われました。

翌10日には赤坂ねぼけにて、宮地支部長はじめ多数の同窓が出席しお祝いの会が催されました。中でも関東在住の16回生はほぼ全員が出席し、同期生の快挙に喜びを分かち合いました。

●支部活動

▽1月23日 広島支部総会に西岡筆山編集長出席

▽2月19日 関西支部総会に鶴和事務局長出席

▽4月10日 筆山26号編集会議

▽5月22日 東海支部総会に溝渕幹事長出席

母校だより

学校長 森田幸雄

6月に入り当地は早くも夏本番の気配となり、生徒諸君も一せいに夏服への衣更えをすませました。

関東支部の皆様にはますますご健勝の御事とお喜び申し上げます。さて新学期も既に2ヶ月が経過いたしましたがこの間、全校遠足、中学集団研修、県下高校体育大会、中学クラスマッチ等の大きな行事を含む総ての教育活動が順調に執行されており、これも日頃の先輩諸兄姉のご声援の賜物と存じ心から御礼を申し上げます。

次に本年度の大学入試状況について特徴をご報告いたします。

まず喜ばしい面としては、現役生諸君の合格率が従来の記録、平成9年度七一・七%を凌いで七四・四%に達しました。進学指導部ではこの数値は歴代断然一位ではないかと確認中です。また昨年の合格者数を倍増した難関校も増加しており、例えば大阪大2名から9名へ、神戸大4から7へ、東北大0から4、上智

大2から15、立命館大23から45、防衛医大1から4、等々受験生諸君の健闘を讀えたいと存じます。ただ東京、京都、早慶等最難関校については今一段の奮起が要請されており、次年度以降は質量共に飛躍に向けて、挙校一致の態勢で取り組んでまいる決意ですので、

経験豊富な先輩各位の適切かつ有効なるガイダンスや示唆を頂ければ幸いに存じます。次に県体関係の成果ですが、陸上四百メートルリレー、二百メートル(個人)、ハンドボール男子、バドミントン男子、同ダブルス、登山男子、柔道百キロ級(個人)が見事県下を制覇し、全国大会へと駒を進めることとなりました。

各部とも日頃の厳しい練習の成果を晴れの舞台で遺憾なく発揮してくれるものと期待しております。また高校野球では日程の都合で2校優勝となり、岡豊と共に久し振りの栄冠を手にすることが出来ました。これを弾みに選手部員一丸となって、夏の甲子園目指して精進を重ねる決意です。で、夢実現へ向けて暖かいご声援をお願い致します。

さて既にご承知のこととは存じますが、同窓会長岡村甫

氏が4月1日から、高知工科大学副学長、学校法人高知工科大学理事、評議員に就任されました。同じく同学副理事

長の宮地貫一東京支部長さんとお揃いで県民期待の工科大のトップリーダーになられたことは、この上なく嬉しく且つ頼もしい限りであり心から祝福申し上げます。本校からの進学者はまだ少数ですが、今後は積極的に拡大に務めたいと存じます。なお私事に亘り恐縮ですが、小生もある事情でこの程評議員を命ぜられました。お二人の驥尾に伏して何とか任を全うしたいと思っています。

さて来年は本校創立八十周年の記念すべき年であります。同時に大いなる二十一世紀の礎とも申すべき意義ある年にも当たります。学校といたしましてはこの稀有の好機を捉え同窓会、振興会の皆様のご協力を頂き、大きく確かな飛躍を目指しております。具体的な事業内容や行事案等については、校内委員を中心に立ち上げを急いでおりますが、いづれにしても同窓先輩の皆様の強力且つ積極的なご支援ご協力がなくては成り立たないものばかりです。何卒よろ

しくお願い申し上げます。

最後に会員諸兄姉のご健勝と関東支部のますますのご発展をお祈りして学事報告いたします。

本部だより

幹事長 岡内紀雄 (34回生)

関東支部のみなさん、お元氣ですか。南国土佐から一筆啓上いたします。

我が同窓会の岡村甫会長は、このたび東京大学を定年退官され、4月から高知工科大学の副学長兼社会システム工学科教授に就任なさいます。また5月には土木学会の会長にご就任で、ますますのご活躍が期待されます。

もうすぐ梅雨の季節がやってきますが、昨年9月高知を襲った集中豪雨は、24日の午後9時から10時までの高知市の1時間雨量が百十二ミリと観測史上最高を記録し、また23日午後8時の降り始めから25日正午までの総雨量が高知市で八百六十九ミリに達し、国分川が越流、高知市東部が水没、あちらこちらで土砂崩れが発生するなど、未曾有の大きな被害を受けました。そ

の恐怖が未だ覚めやらず、少しまとまった雨が降ると、再来かと怯え、不安を感じるこの頃です。

高知の夏の最大のイベントは「よさこい祭り」ですが、今年はその最終日に、全国各地の鳴子踊りチームが参加する初の「よさこい全国大会」が開催されることになり、北海道や東北、中部北陸など全国8ブロックから自由参加する県外勢15チーム前後と、11日の本祭で入賞した地元勢を合わせ計30チーム余りが競演、乱舞する予定です。「鳴子を持つ」こと以外は特別なルールはなく、県外勢には楽曲に「よさこい節」を入れることも求めず、各地域の特色を自由に出してもらうことにしており、YOSAKOIソランをきつかけに全国津々浦々に伝播した「よさこい」が、その発祥地・土佐でどんな個性をぶつけ合うのか注目されます。

ところで、今年の同窓会総会は8月7日(土)高知新阪急ホテルで開催いたします。記念講演は、20回生で元広島高検検事長・弁護士竹村照雄さんをお願いしました。みなさん、お揃いでご出席をお

待ちしています。

東海支部だより

事務局長 南穀一 (37回生)

私共が期待していた通りのドラゴンズの世界となりました(但し6月初現在)。名古屋経済は徐々に上昇カーブに入りましたが、関東の方は如何でしょうか。イヤまだこれから々々、ナンチャッジャないチャという声も聞かれますが・・・。

そんな中、東海支部の総会を開催。歳がいくと「イザル」方がエエとの長老のご意見に従い、土佐料理「ねばけ」名古書店に参集して頂きました。「来年は八十周年ですゾネ」と学校からは森本教頭「本部もちゃんと会報を作りユウキニ」の山崎・大久保両副会長

「今日、土佐の海は勝ち越しました」とご挨拶の面白い関東の溝渕幹事長「ワシヤ野球のことしかわからん」の元スター永野関西支部長

支部事務局のやり方等いつもご指導下さる広島支部の小島事務局長

まさに土佐高OBのキラ星の面々と東海支部メンバーが杯を交えながら「オンシヤとオレが・・・」「ヤルかえ、ヤランかえ・・・」時間が経つのも忘れる白熱バトルでした。そこにはなつかしいミニ高知の世界がひとときの間確かにありました。来年もこのスタイルで続きをヤルキニ、元気でイトーセヨとお開きとなり、夜はとっぷりと暮れました。

尚、この総会で松崎支部長及び下山幹事長が退かれ、それぞれ顧問に就かれ、新支部長には大高坂秀雄氏(31回)が満場一致で推挙されました。新しい支部役員の顔ぶれは次の通りです。

支部長 大高坂秀雄 (31回)
事務局長 南穀一 (37回)
幹事長 竹原泰明 (36回)
会計監査 二神良太 (33回)
「わかしやち」編集長
内田順子 (35回)
幹事 村山文世 (41回)
幹事 山崎博司 (44回)
幹事 市川尚孝 (51回)
幹事 天造豊彦 (52回)

関西支部だより

幹事 中山眞知子 (46回生)

関東支部の皆様如何お過ごしでしょうか。夏を迎えると殊に故郷高知の夏の味の数々を思い出します。ゆでだちのマイゴやりゆうきゆうの酢もみ、それに何というたち鰹のタタキ。

さて、我が関西支部は、永野元玄氏(29回生)を支部長に迎え、はや2年がたちました。統率力のある指導の下、支部もようやく息をふきかえしております。

今年の関西支部総会は、2月19日(金)午後6時30分より、梅田・新阪急ホテルにて開催されました。来賓として、母校より森本教頭と中澤節子先生、本部より大久保副会長、横田副幹事長を、貴支部からは鶴和事務局長、広島支部より沖田幹事、香川支部より土田支部長をお迎えして、楽しい総会となりました。

次に会報「なんぶう」について。なんぶうは、フルカラーで2年ぶりに第19号を発刊しました。今後、バラエティに富んだ記事を満載したいと思っています。故郷の香りと母校の空気を運ぶ風となるように、森岡編集長以下編集部一同ガンバっております。

そして、新幹事の増員を今年の努力目標の第一として、各回生に渡り、絨毯爆撃を展開中です。少しずつではあります、その努力は実り、10名だった幹事も現在30余名となって参りました。中には、「土佐校には世話になりました、出来るだけ尽くしたい」と泣かせるセリフを言う若い幹事もいます。力強い限りです。若返った関西支部です。以上、ご報告申し上げます。

広島支部だより

事務局長 小島一洋 (31回生)

去る6月12日貴支部の平成11年度総会・大懇親会にご招待を賜り喜んで弊支部の沖修一支部長と共に出席させて頂きました。その和やかさそして一糸乱れずに粛々と運営していくスタッフの一流のスクラム力には感銘を受けました。それにしても三百人もの出席者の参加力にただ驚きを禁じ得ませんでした。矢張り全支部の中で関東支部は、実力ある長男支部です。私共の広島支部に対しましても、ご指導とご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

広島支部(広島県、山口県)では約百五十人の会員が各々の職場で活躍しています。広島支部周辺は、すでに皆様方ご案内のように「瀬戸内しまなみ海道(本四連絡橋尾道ー今治ルート)」が開通しました。広島県の向島、因島、生口島と愛媛県の大三島、伯方島、大島の主要六島を10の橋でつなぐ五十九・四キロ。このルートは、全行程を車はもちろん、気ままに歩いたり自転車です。個性に富んだ観光資源や美しい島の情景を、島伝いに訪ねてみられることを関東支部の皆さんにおすすめて致します。その時には、広島支部の同窓会員との温かい交流を是非スケジュールの中に織り込んで頂ければ幸いです。

香川支部だより

支部長 土田哲也 (32回生)

関東支部の皆様には益々御清栄のこととお慶び申し上げます。

今年になってからの支部活動としては、1月23日の広島支部総会に中澤幹事が、また2月19日の関西支部総会

に私がそれぞれ出席させて頂き、出席者の方々と交流したことです。関西支部総会には、中澤節子先生が来賓として出席されておられましたが、全く年齢を感じさせず、豊饒として印象深い御挨拶をされました。いつものことですが、毎回すばらしい恩師や先輩、後輩に接することができののが出席した帰りの何よりのお土産です。関東支部では、ゲストの講演が組まれていて非常にいい企画だと感心しています。今年の関東支部総会には所用で出席できませんが、できるだけ機会を作りたいと思います。

香川支部では、設立以来事務局長役の幹事であった山下雅生氏が3月1日付で高知に転勤になりました。後任には、62回生の寺田裕二が勤めることになりました。よろしくお願いします。今年の支部総会は、6月26日(土)に開催する予定です。多くの参加者を期待したいのですが、週日、休日、昼間、夜間いずれがよいかについてはアンケートの答えも分かれ、難しいところですが、早く定着するよう努めますが、結局今年も昨年方式を踏襲することになりました。

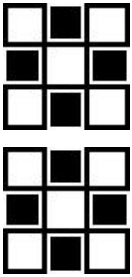
た。本部、各支部に刺激されて、今年は香川支部でも会報を発行することになり、準備中です。いずれ目に留まりましたら、いろいろ御教示下さい。

高知自動車道が伊野まで延長され、高松から高知まで自動車で一時間半で行けるようになりました。川之江から大豊までの4車線化工事も始まっており、池田から川之江への接続も先が見えてきて、いよいよ四国も高速自動車道が主流になる気配です。時間短縮の利便性は高まりますが、吉野川沿いの列車の旅をする人が減っていくように感じています。一方空路は、規制緩和の影響で運賃割引制度が変わり、早割がなくなつて東京までの運賃は実質上の値上げになりました。便利さ、時間、運賃の兼ね合いは難しいものです。

関東支部の皆様の御活躍をお祈りしています。

E-mail:

tuchi.dag@.legawa-u.ac.jp



思いでの先生方 ⑮ 西森 茂夫 先生 (61才)

父・西森茂夫

長女 西森さと (57回生)

幼い頃より、父といえは「書斎で机に向かっている」というイメージで、家に居ない時は近くの本屋を探せば見つかるような人だった。

そんな父の教師としての姿を見るのが出来たのは、47回生Hホームの卒業後初めての新年会で、当時伊野町枝川に住んでいた我が家でのことだった。

父は北海道大学獣医学部卒業後、地元札幌の高校で4年教鞭をとった後、高知に帰り母校土佐高で生物の教師として中1を受け持ち、新生活をスタートさせた。そのまま高3まで持ちあがり、卒業後、担任だったHホームの生徒が会費を安上がりに済ますため、我が家で毎年1月2日に同窓会を開くことにしたのである。

狭い我が家の2階を宴会場に開放し、私や弟は、この日はエビフライが食べられると目を輝かしながら、料理をする母を手伝った。2階に料理

やお酒を運んでいくと、赤い顔をした人たちが楽しそうに語り合っており、そんな人たちを初恋にも似た憧れの気持ちでながめていた。酔っ払って下に降りてきて恋の悩みなのか切々と訴えるように打ち明け話をしている人や、ギターを片手に歌い出す人、全てが私には刺激的でこの年に一回の同窓会を楽しみにしていた。

後に47回生に伺うと、この当時の父は理想にあふれる青年教師という風で、生物の授業も、「なぜサルは木から降りてきたか」などというテーマでスタートさせたり、「赤いりんごに唇よせて」の歌が生徒に受け、「単身で北海道に渡ったが、帰ってきたときは4人だった」等と自分の話も生徒に話していたようである。

その後、76年より、また中1を受け持つことになった。これが57回生で、この第2ラウンドの際には学級新聞「根っ

こ」を定期的に発行したり、生徒と麦畑を作ったり、生徒や父母と交流を深められるよう、課外企画をいろいろ立てていた。当時私は、付属中の1年生だったが、同じ年の人たちということで、そんな催しに家族ぐるみで参加していた。

父が高知と徳島を結ぶ野根山街道を歩くという企画をしたことがある。父は北大の山岳部で鍛えていたから自信はあったのであろうが、今から思うと無謀とも言える計画であった。約40名の人数で奈半利からスタートしたが、登山口までの道のりが長く、力のあるものは先へ先へと進み、父はへばった生徒の荷物を担ぎ、先頭に追いつこうとしたが、一隊はどんどん細長くなっていた。

途中休憩で、私の弟を含め数人がいないことに気がついた。もう日も暮れようかとい



う頃の出来事である。

父は山の中をサルのように走り、先に進んでいた生徒を呼びに行った。その後はぐれた生徒を探しに行こうというとき、彼らが道を間違えたことに気付き、独自で戻ってきたから最悪の事態は免れたものの、2次遭難を恐れて、その場で待機していた私の脳裏には、翌朝の新聞の『土佐中生、野根山街道で遭難』という大きな見出しがちらつき気が気ではなかった。

こんな父のさまざまな企画も、当時の57回生たちには『またシゲオ（父はなぜか57回生からはシゲオという愛称？で呼ばれていた）が何かはじめた』と必ずしも歓迎されていなかったようなふしもあるが、今となつては全て楽しい笑い話である。ただ、麦畑でママシに囃まれたS君は、「病院に行くとき、僕の車をバイクで走り、僕は自転車です。必死で後をついていったあのときの恨めしい気持ちはいまだに忘れられん」と真顔で先日語っていた。

さて、高1になり私もはれて名門土佐高に入学することが出来た。私はTホーム、父はお隣のHホームの担任、か



つ生物の教師でもあった。この関係を私なりに楽しんで、試験の前には父の書斎の隣の部屋でクラスメートと勉強をし、質問が出来る『西森先生、質問があります』とやっていったものである。それで娘の成績が良ければ父も何の不満もなかったであろうが、入学以来、すぐに入部したテニ

ス部の練習に明け暮れ、私は、生物以外の主要科目は目も当てられないような成績。一度は進路指導会議に名前が出てしまったことまである。いや、はや何とも申し訳ない話である。

その私がようやく猛勉強をはじめたのは、ウェストバールニア州立大学への入学が決まってきたこと。英語で補習組だった私の「アメリカの大学で勉強したい」という無謀とも無知ともいえる申し入れに「どうせ海を渡るなら、大きな海を渡ったほうが良い」とすぐ賛成してくれた父。父娘でかなりの怖いもの知らずといわれればそれまでだが、今でもこのときの父の決断と、それを理解し応援してくれた担任の中沢先生には感謝している。

「生物の授業を通して生徒に生命の大切さを教えたい」と語ってくれたことがある。その思いは平和への願いへとつながり、28年間勤めた土佐高を退職後も、自宅をつぶして建てた「平和資料館 草の家」の館長として、今なお、子供たちをはじめ、世界の市民へメッセージを送りつづけている。

**ちゃんちゃんこ同窓会
関東33回生同窓会開催**
久保内端郎（33回生）
6月5日（土）例により白金台の八芳園で開催。多くが還暦を迎える今年は北は貴森、南は福岡、地元高知からと、懐かしさに負けて集う同朋40名。



誰が持ってきたのか赤いちゃんこが引つ張りだこで還暦未了の形も完了の者も完了の形も華甲の味やいかに味わい、ゴルフで始まり、カラオケで終わって一夕を楽しんだ。青嵐若きに戻る日なりけり

町田守正・田村孝章両氏叙勲祝賀会

曾和純一（16回生）

同窓会の前会長町田守正さんが、この春の叙勲で勲三等瑞宝章を受けられ、伝達式に上京された機会に、中城さん（30回生）が発起人となって同窓会関東支部有志によるお祝の会が5月10日夜赤坂の「ねぼけ」で開かれました。

町田守正さんは16回生、母校の先生を務められたのち政界に転じて県議員また土佐山田町長として、昨年引退されるまで多年にわたり地方自治に貢献されました。その一方で同窓会長としてのご活躍でお馴染みの方も多いことと思います。

また、この度の叙勲で同じ16回生の田村孝章さんも勲三等瑞宝章を受けられました。東京大学名誉教授、理学博士で、多年の学問業績を認められたものですが、その多彩な発想は象牙の塔にとどまらず発揮され、啓発されるのが少なくありません。



このお二人は小学校に上がったときからの同級生という浅からぬ縁の持ち主であり、それぞれ異なる世界にありなが

うからには、集まった顔ぶれも幅広くまことに多彩で、16回生が主賓を含む8人参加したことはさておき、近藤久寿治大先輩（6回生）から53回生まで、宮地関東支部長ら支部幹部の方々、筆山会

有志、町田先生の元の教え子など、代議士もいれば大学教授も社長もいるし、イゴッソーもいればハチキンもいる40名近い参会者で、赤坂の夜はおおいに盛り上がりしました。

これまでも、同窓生には勲一等ははじめそれぞれの司々での貢献により勲章を受けられた方は多数おられますし、これからも年々増えていくことでしょう。

ら、時を同じくして同じ勲章を受けるということで、二重のお祝いとなりました。そんなお二人のお祝いとい

価値観が益々多様化する時世ですが、それなりに素直に喜びを分かち合うのも同窓生の愉しみというものではないでしょうか。

42回生 関東地区同窓会開催

堀見淳二（42回生）

この度土佐高の42回生の同窓会が、歌舞伎町の「土佐」において、4月24日（土）に開催されました。当日は生憎の土砂降りの天候にもかかわらず46名の普男善女（？）の集合となりました。高知よりの参加者が15名、愛媛1名、



岡山1名という最近になく遠隔地よりの集合となりました。

高知組の15名はツアーを組み、京王プラザホテル宿泊という豪華版で昼間から一杯やっていて意気軒昂。幹事への連絡は「雨だからリムジンを出せ」とか「おやじ狩りに会うと危ないから迎えに来い」とかわがまま放題。幹事一同少しも騒がず「君達だけは大丈夫」「歌舞伎町は文教地区ですから」で押し通す。しかし土佐鶴や、ちくわ、天プラのおみやげはうれしい限りで、持込み可にしていたので全員で舌つつみ。

初懇の人に会ったA君の感想「すっかりバアさんになって」本人もすっかりジイさんになっているくせに。とにかく近況報告他大いに意気が上がりましたが全員50才。女性パワーに圧倒されつつ「フレイフレー土佐高」を連呼し、4時間近い宴会は無事終了。雨の中に三々五々と解散して行きました。（後ろ姿はやはり全員おじさんおばさんでした）

夢への挑戦

武市智行氏（49回生）

（株）スクエア 代表取締役

今年の関東支部総会講演会は（株）スクウェア社長武市智行氏（49回生）に講演して頂きました。これまでも各種新聞雑誌にて紹介されていますが、改めて氏のプロフィールをご紹介します。

武市氏が四国銀行を退職し、ゲームソフト大手のスクウェアに転職したのは平成8年5月。同6月23日付けで社長に就任した。四国銀行は同社のメインバンクで、店頭登録準備のため過去4年間ほど武市氏は同社に出向していたことがあった。スクウェアは「ファイナルファンタジー」「聖剣伝説」などのゲームソフトで有名な会社。業界トップメーカーでもある。武市氏が同社に移った頃、スクウェアは大転換期にあり、任天堂向け一辺倒であったゲームソフトをソニーコンピュータエンターテインメント向けに移行させようとしていた難しい時期にあった。

武市さんは結局これをやり遂げた。無難にやってゆくよ

り、夢の実現の方に賭けたのだ。この方針転換はCD-ROMをコンビニエンスストアで販売するという新しい販売チャネルも可能にした。社長就任当時は三百二億円だった連結売上高が、本年3月期には七百十七億円となり、今期は八百二十七億円を目指して



いる。

さらに武市氏は大きな夢を描いている。それは世界ナンバー1のデジタルエンターテインメントのコンテンツメーカーになることだ。家庭用ゲームソフト業界におけるメジャーになり、さらに映像の市場でもメジャーを目指してゆく。スクウェアはすでにそれだけの技術・ノウハウを持ち、こ

れからは映像技術の進化を遂げながらハリウッドにせまってゆく。そしてバーチャルリアリティも体験することができるドルビーデジタルサウンドでもトップを狙いたい。こう、武市氏は夢を語る。

武市氏が社長就任を決断するまではずいぶん迷いもあったようである。四銀からスクウェアへ出向していた時の仕事ぶりがオーナーの宮本さんに認められ「一緒にやらないか」と誘いを受けたが「金融マンとして高知の生産活力を上げるのが夢。四銀に恩もある」といったんは断った。しかし武市氏の能力を買う宮本さんはあきらめず、「ゲーム業界の変革のスピードについていくにはあなたが適任。社長を引き受けてくれないか」と再び説得。武市さんは結局これに応じた。将来性のある中堅銀行マンが退職して大手企業のトップに就任するのは異例であった。

この間の心事を武市氏は次のように語っている。「自分のなりのキャリア、知識、ノウハウも含めて、誰もが経験できないことを経験できるということ。このまま銀行にいても経験することは、自分で想像できる範囲じゃないか。それならばへいずれ高知に帰る」という強い意志を持って、未知の世界である社長を引き受けるというのによいのではないかと考えたわけです。

爾来今まで社長業をやってきた感想を次のように語っている。「社長になって、自分の後ろに誰もいない、最後は自分で全て決断しなければいけないというのを実感している。小さなことであったとしても最終的には自分なりに理論武装し、納得して解決していくということをやっていかないと、部下を含めた周りの人間は納得してくれない。決断した理由を明確に持ち、そして、その決断が仮に失敗しても次に成功するような失敗をしたい、そう考えて社長業をやっています」。

最後にこうも言っている。「何期かやった後、できれば50歳くらいには高知に帰り、地域経済に貢献する仕事をしたいと思っています」。

（筆山編集局 記）

いつまでも、心に残るおつき合い。

ぐんぐんバンク

四国銀行 東京支店

〒101-0047 千代田区内神田1-13-7
☎03-3291-3411 FAX03-3291-3913





昨年12月31日の「天声人語」に、前日亡くなった木下

恵介監督を悼む文章が載った。

その中に取り上げた映画「二十四の瞳」の一シーンがある。

敗戦後大人になった岬分校の教え子たちが、一夜大石先生を囲む。戦場で視力を失った磯吉が、幼い日のいっしょに撮った写真を手にして言う。

「この写真は見えるんじや。

な、ほら、真ん中のこれが先生じやろ。その前におらと竹

一と仁太が並んじろ。・・・」

写真をまさぐる磯吉の得意そうな顔が却って辛くて、私も映画を見ながら泣いた。

なつかしゅうて

「天声人語」の文章を読み返して、突然私の胸の中を過ぎる想いがあった。

12月半ばのこと、中学の同窓生のドーモーンこと松岡か

ら思いがけず電話を貰った。

「おセン（私の仇名）かヨ。

おまさんの文章見たぜヨ。も

う六十八年経ったかのう。な

つかしゅうて耐らん・・・」

実は、「筆山」25号に中学

5年当時の稚気の残る連中との

飲み会のことを、写真を添

えて「一枚の写真」と題して

掲載して貰った。松岡はそれ

を見て、早速感激の電話をく

れたのだった。

私が「二十四の瞳」の磯吉

泣き虫 怒り虫

十回生 立仙浩一

のことで松岡のことを思い出

したのは、他でもない。磯吉

と同様、松岡も網膜の異状で

10年も前から眼が不自由になっ

ていた。彼からの電話も、恐

らく奥さんが代わりにダイヤ

ルしたものだろ。

心のスクリーン

そのことを私は頭では知っ

ていながら、その時はうかつ

にも聴き流した。私の文章を

奥さんが代わって読むのを、

松岡は耳をすまして聴き、矢

も桶もたまらず私と喋りたく

なっただろう気配が、彼のせ

き込んだ声からも伝わった。

松岡は中学5年から一高、

東大へ、と進み医者になった。

偶たまこの写真の場には

は居合わせなかったが、

それでも私の文章の中

で、キタス（北川）、

モッソ（野中）、ネ

ンコウ（寺田）・・・

と仇名で呼び、日ごろ

からの彼らのありよう

や、飲み会の小生意気

な恰好を描写したこと

で、松岡の思い入れは、

自分もそこにいたかの

ように深まったのでは

あるまいか。

松岡の心のスクリー

ンには、眼の見えない

ことで、目の見える者

以上に、くつきりと、

若き日の仲間の映像を

映しとっていたのだろ。

私の文章を、心から聴いて

くれた松岡は、私には最高の

読者だったことになる。

松岡よ、おうきに、と言

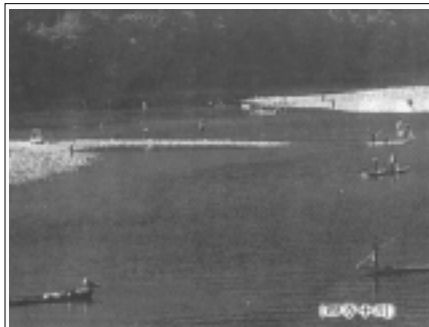
たい。

松岡の聴いた「一枚の写真」

名簿事務局より

この半年間で以下の住所が不明になり、お知らせいたします。事務局にこの住所をお知らせください。

737373727272717171717070706868646363626262616159585555545353525251494847424039393836353328
NKHSKONSKHNNHSHNNNNNOOOHSOSSSNKHSHKKKKKSOOHTSOTM
東田濱竹伊村中上竹中坂大川藤竹大中岡両川和沢吉佐芦酒田西松伊前田奥田中乾高岩横杉河武原渡青
佳村口内野上島田崎越本崎村本内崎村林角端田田井々垣井井原浦藤田中宮中石英巨朗澄武彰光達紀洋
代謙部真沙尚大武康章哲和通重慶千美淳ま裕山幸利伸正幸明尚雄志介二子男融夫雄雄也男子
子史司真陽希織子輔司展弘司夫裕子登祐賀穂一み人寛代衛明望幸孝雄民志郎47
737372727272717171717070696865646363626261615958555554535252514948S444239393836363531
NKNKOTSKHHNKSKSONNOONONNTSOHONKNNSN浜TSSOKSHTO
寺國間橋倉若片山山津長鈴小山森中玉井山上岡北窪二白真坂望影谷前楨野杉久竹片高木森大中横山
田澤崎本田林山崎本野野木松崎野木原田田本村川神石嶋本岡山合本村村保内岡橋梨光串村山本
雄陽和香真素景健静孝正雷健道正佳礼雅敬則収浩泰信健明裕肖吉長康節哲康歌勝誠義
紀介明澄由子笑希子子誌知太二良学和奈子志敦二文一聡祥一洋寿明二穂満紀子裕司夫子英一隆
美郎



龍馬も、鯨も待っている
ふるさと高知

暮らしいきいき、ビビッドバンク

高知銀行

東京支店 中央区八重洲2-6-21 (電) 03-3273-3061

4月23日、第6回土佐高OG会(愛称ハチキン会)が日本工業倶楽部にて盛大に行われました。

28回 川村 愿

このような楽しい、有意義な会を企画し、お世話して下さった方々と各回のナイトの方に改めてお礼申し上げます。ただやはり学年が違っていると何となく気後れがして出席をためらうのですが、「ハチキン」という会の名称は半分旧制ともいえる私どもにはどうも抵抗がある」というのが第1回から出席させて頂いたエネルギーの源でした。そのため皆勤賞を頂けそうな出席率になりました。

めでたく会の名称も決まり「ハチキン会」は愛称の座に



おさまつて、これで私も一安心、「老兵は消えゆくのみ」などと少々気取って考えていたのですが…。そうこうしている間に、大変魅力的な先輩の女性達と顔馴染

になり、ヴィヴィッドなひと時が過ごせることが楽しみにになりました。今回は大先輩進藤貞和氏のお祝いも兼ねるということで、28回は5人で出席出来て心丈夫でした。

「ハチキン」は現在では本来の語源から離れて一人歩きして、へいごっそうと

同様に胸を張って使っても差し支えないのですよ」と30回生の方が解説してくださいました。

34回 伊野部 孝子

今回の「ハチキン会」はアルコール様式の装飾溢れる日本工業倶楽部で催されました。今回は大先輩で三菱電機相談役をなさっておられる進藤貞

土佐高OG会 愛称

ハチキン会

和氏の卒寿のお祝いを兼ねてという趣向のもとに、男性群も多数出席され、凛とした進藤氏の乾杯の音頭で和やかに始まりました。高知の地酒、ビール、ワインを飲み、ご馳走をいただきながら先輩後輩入り交じって旧交を暖める中、進藤氏の張りのある歌声を披露して頂き、私たちも、四季

の歌、ふるさとを歌ってあつという間の3時間でした。

満89歳の進藤氏が朝8時半から5時まで毎日会社に出勤勤務されているというお姿に頑張らなければと思い、極めつけは「へこたれたらいかんぜよ」と喝を入れて下さった時は襟を止す思いでした。滅多に行けない場所と楽しい時間を有難うございました。

44回 永森 裕子

この会には初回より皆勤賞で参加。その度に色々な場所でも色々な先輩、後輩と顔見知りになり楽しい時を過ごさせてもらっている。特に先輩お姉さま方の豊富な人生経験に基づいた話は面白く、元来嫌いではないアルコールもついつ

い進む。本年4月の会はナイト役進藤貞和と大先輩のご尽力で大正の面影漂う中でのひととき、天井の高さと装飾の荘厳さに見上げることしばし、首は疲れてしまったが素晴らしい一夜だった。土佐高校を



卒業して30年、と言うことは東京で生活しはじめても同じ年月の積み重ね。上京以来生活の場面場面において前向きに進んできたつもりではあるが、ふと都会の雑踏の中で疲れを感じる時がある。そのようなとき土佐高の雰囲気はひ

たるのはどんなにオアシスとなることか。我々に様々な形で集いの場をつくって下さる諸先輩方に深く感謝している。

67回 谷口 瑞枝

アルコール調の内装や家具に花模様のレリーフがうめこまれた天井。重厚な煉瓦の外壁の建物の中に一歩入れば大正時代にタイムスリップしたかのよう。

今回のハチキン会はこのような歴史的建築物である日本工業倶楽部の一室で行われ、ナイトの進藤さんの90歳のお祝いも兼ねていたため男性も大勢出席されていたので、今までとは少し雰囲気の違いがハチキン会でした。といっても高知の人間だからでしょうか、会場に用意された地酒はすべて空！この飲みっぷりはいつもと変わりがありません。

ハチキン会の醍醐味といえはやはり年齢に関わらず、気軽に初対面の方とお話することが出来ることでしょう。先輩方の経験談を聞きしたり、よもやま話に花を咲かせたり…。ハチキン会は私にとって大切な出会いの場です。

この会はいつでもご入会大歓迎です。

佐々木 (33) TEL&FAX 044-955-0562
E-mail hiro_art@muc.biglobe.ne.jp
金澤 (55) TEL&FAX 044-954-7581
E-mail kanazawa@toc.nti.co.jp
西森 (57) TEL 03-3408-1454

★出版★

- ①公文俊平(28回生)
「緊急提言コンピュータ
2000年問題」
NTT出版 950円
- ②竹内靖雄(29回生)
「人間と集団をめぐる思考の
ヒント」(PHP文庫)
PHP研究所 648円
- 「チームの研究 成功と失敗
の人間学」
(講談社現代新書1443)
講談社 660円
- ③田島 征三(34回生)
「おおかみのこちそう」
(絵本)
偕成社 1400円
- ④野田 正彰(37回生)
「庭園に死す」
春秋社 3500円
- ⑤柿田 睦夫(38回生)
「自己啓発セミナー」こころ
の商品化」の最新線」
(新日本新書494)
新日本出版社 950円
- ⑥西村 繁男(40回生)
「がたごたごた」(絵本)
童心社 1300円
- 「まんが編集術」
白夜書房 1900円
- 「ぶらぶらばあさん・やま
からうみへ」(絵本)
小学館 1360円
- ⑦宮岡 等(49回生)
「内科医のための精神症状の
見方と対応」
医学書院 2800円
- ⑧坂東 真砂子(51回生)
「身辺怪記」
角川書店 495円
- 「葛橋」
角川書店 1500円

⑨阿部知曉(51回生)

「コリラ雑学ノート」

ダイヤモンド社 16000円

⑩森岡 浩(55回生)

「夢の樹が接げたなら」

早川書房 19000円

お悔やみ申し上げます

7回 長崎治道さん

平成10年12月18日

14回 三福正信(喜笑)さん

平成11年2月3日

16回 島内淳さん

平成11年6月27日

35回 野中博允さん

平成10年8月10日

37回 山本晴茂さん

平成11年4月1日

編集後記

●支部長の思惑通り今年の総会も若者で一杯だ。組織だった役割分担で事務局長も暇だったらしい。年々進歩していく同窓会には敬服する。関東支部を見つめて10数年の若輩の私でさえ感慨深い。

次の課題にこうゆうのはどうだろうか。すてきな独身男性、女性がいっぱい参加する総会。世代を問わずいう人達が、肩身の狭い思いをしないで参加できる総会。そしてそこからカプブルが生まれればまた最高ののだ。今回土佐のいい男をゲットしようといこのツテで参加した美女3人組に会った。さて、どんな結果がでたかしら。(Y)

●いんたあねつをはじいめんと、でんしのうみにこじいめんと、おそろしきかなうつしよの、なみにもまれてQ2

季節のふるさとの味
土佐酒蔵

銀座7-12-4 友野本社ビルB1
電3545-3855 銀座第一ホテル通り

の、せいきゆうがくが二まんえん。つかひもないあくせすのたかいたいかをはらうべき。Q2の無使用請求が横行しています。(F)

●3月、37回生の山本晴茂さん逝去。奥様が送って下さった年会費の払込票に「3月11日会逝いたしました。これが最後の年会費となります。これまで種々ありがとうございました。重い、重い三千元をあずかった。原稿の締切り間際、16回生の島内淳さんの計報が届いた。筆山の古いメンバーで、ロマンスグレーと明るい笑顔が印象的な先輩だった。関東支部草創の歴史を知る人が、また一人逝った。(T)

ご冥福をお祈りします。(T)

割烹風居酒屋
酒菜浪漫亭

新橋店/〒105 東京都港区新橋 4-14-7 TEL(03)3432-5666
FAX(03)3432-5720

●営業時間 / (月~金) PM5:00~PM11:00 (ラストオーダーPM10:00)
(土) PM5:00~PM10:00 (ラストオーダーPM 9:00)

●定休日 / 日曜日・祝日

本店 / 高知市大手筋1-3-23 TEL(0888)73-0137
廿代店 / 高知市廿代町2-17 TEL(0888)73-8400

TONTON カラオケ・スナック

幸田 みどり
(土佐女子出身)

〒160-0021 東京都新宿区歌舞伎町2-46-7 第三平沢ビル7F
TEL 3205-3177 (西武新宿線北口前)

小料理
赤坂「土佐」

港区赤坂3-13-2 アダンビル 4階
電話 3586-9454